

あなたは、「自分の住んでいるマチの職員の顔」を 何人思い出すことができますか？ おといねっふ外部人材伴走インターンシップ

北海道で一番人口の少ない村「音威子府（おといねっふ）村」が、大学生と協働で行うまちづくりインターンシッププログラムです。

人口が少ない＝なにもない、価値が無いのか…？北海道の過疎最先端の村、音威子府村では、地域外の大学生と継続的な協働プロジェクトを展開しています。過去に村のプロジェクトやインターンに携わった学生とともに実施する、就活のためだけではない「本気で地域、住民と向き合う」インターンシップは、今回で第4期目を迎えました。

キレイごとでは解決できない「まちづくり」を体験したい方、「小さな村」が気になる方、将来の進路で悩んでいる方、前向きなアイデアや発想を実現してみたい方、とにかくたくさんの人とお話するのが好きな方、ぜひプログラムにご参加ください！

1. テーマ

「村民一人ひとりが主人公になる村をつくろう！」

～職員の「人となり」を知り、互いの価値を見つけ繋ぎ直す～

北海道で一番小さな村には、村民600人が暮らしています。全国各地で人口減少による諸課題が叫ばれている中、北海道での過疎最先端の本村では、他の地域が10年先に直面するとされる複雑な諸課題（生活関連のサービスや公共交通機関の縮小・撤退、地域コミュニティ機能の低下など…）に、現在進行形で直面しています。限られた人口の中では、課題や問題に直面した時に「私がやらなくても誰かがやってくれる…」というような他人事の考えが通用しなくなってきており、今後は今まで以上に村民一人ひとりが知恵を絞り、助け合える協働者を増やすような前向きな取り組みを増やしていく必要があります。本村の第6期総合計画の基本目標3にある「行政と住民が連携し協働できる村づくりや仕組みづくり」の重要度が高まっています。

このインターンでは、村の人口の1/10を占める60名の役場職員（＝村民）に焦点を置き、「職員（＝村民）一人ひとりとはどのような暮らしをしていて、地域にどのような想いや考えを持って仕事をしているのか」という点を常に意識し、参加学生の得意・興味分野を活かしたアクションに取り組んでいただきます。「職員（＝村民）の皆さんの考えや思い」を引き出し、“一人ひとりが村の主人公”になるためにはどんなことができるかを一緒に考えましょう！

2. 研修ミッション

「村民トレカプロデュース！」

～「村民トレーディングカード」を作成して、村民と仲良くなろう～

おといねっぷインターンでは、村民と外からの人との関わりを大切にしています。今回のインターンミッションは、村民は村民でも特に“村職員”に着目します。

北海道で一番小さな村には「どんな職員がいて、どんなことを考えて、どんなことを目指して、どんな仕事を日々行っているのか…」その人ならではの強みを引き出すことを意識して、一人ひとりと楽しく対話をして記録をしてください。そして、音威子府村だからこそできる、一人ひとりが主人公となる唯一無二の『おもしろ村民トレーディングカード』を10枚作成し、村民の方々に、村職員をより深く知ってもらう・伝えるアクションにチャレンジしてください。

例えば…作成したカードを使って、小学生を巻き込んだカードゲーム大会の企画から実施まで挑戦！など、職員と村民の交流を促進するための活用方法までを皆さんのアイデアで検討し、実行していただきます。

3. おといねっぷインターンの“イチオシポイント”

本村のインターンシップは、「インターン生の成長を“最大限支援”し、全力で活動してもらうことで、じわじわと地域も活性化していく」ことを目指しています。これまでに深いつながりのあった地域外の外部人材の皆さんを、重要な「地域資源（人材）」と位置づけ、インターン生とともに伴走し、活動支援を展開していくことができるのが他にはない大きな特徴の一つです。

学生一人ではチャレンジできないことも多いかもしれませんが、行政職員や村民の皆さん、外部人材である学生メンター※やアドバイザーの方々とともに、新たなチャレンジをできる可能性があります！ ※学生メンターとは、過去に村のプロジェクトやインターンに携わったことのある学生のことです。

① 少人数制でインターン生一人ひとりの活動を支援！

- ・募集人数はわずか3名。その代わり、職員や地域おこし協力隊、学生メンターがインターン生一人ひとりと向き合い、一緒に活動できる体制が整えられています。
- ・その他にも、外部のプロフェッショナル人材（複業人材、大学教員）の方々がアドバイザーとしてプログラムに参画。単なる行政就業体験の枠を超えた、実践と学びを兼ね備えたプログラムです。

② 村民一人ひとりと出会える！

- ・「小さい」からこそその強み、村民一人ひとりに自ら会いに行けるインターンです。ただし、どうするかは本人次第、待っていても会いには来てくれません。「インターン生」の立場だからこそ、住民の地域に対する想いや考えを直接聞くことができるチャンスが用意されています。

③ みんなが本気！笑い・泣き・怒られ、人生のターニングポイントに！

- ・過去の大学生との協働プロジェクトやインターン経験者は、悩みに悩んで、時には怒られ、何度も泣き、試行錯誤しながら活動をしてきました。限られた期間で、学生がどこまで地域や住民の想いを理解しアクションを起こせるのかは、本人のやる気次第です。
- ・過去の大学生は、卒業論文のテーマにした方、他地域でのまちづくり活動参加、まちづくりと関連のある各省庁・大手民間企業、まちづくりベンチャーへの就職等、「音威子府村」での経験が将来へと活かされている方々も多くいます。

4. 一緒に伴走してくれる外部人材の紹介

◆学生メンター

過去に村のプロジェクトやインターンに携わったことのある学生（もしくは卒業生）が「学生メンター」として、インターンプログラム企画検討や活動フォロー（困りごと相談など）を行います。村のことをよく知る彼らが、オンラインでインターン生に伴走しながら活動を応援します。

No 1

■氏名: 河村 陽登さん (20 歳)

■所属: 慶應義塾大学総合政策学部 2 年

■専門: まちづくり、ファイナンス

■音威子府村でのプロジェクトを通じて得たこと:

自分の弱みに気づく機会になり、村民や役場の方々との対話を通して、考えを言語化する能力が身についた。

■インターン生へメッセージ:

最後までやり遂げれば、何かしら得られるものがある魅力的なインターンです。頑張ってください！



No 2

■氏名: 大嶋 唯花さん (25 歳)

■所属: 名城大学大学院 理工学研究科建築学専攻

■専門: 建築 (意匠設計)

■音威子府村でのプロジェクトを通じて得たこと:

目の前の行動だけでなく、その先にある未来を見据えて、物事を深く考える力が身につきました。

■インターン生へメッセージ:

昨年の経験も生かしながら、皆さんにとって有意義な時間になるよう、全力でサポートします！



No 3

■氏名: 広瀬 知弘さん (24 歳)

■所属: 東京大学大学院

■専門: 農業資源経済学専攻

■音威子府村でのプロジェクトを通じて得たこと:

村との関わりを通じて、何をするか考え抜く力と生のコミュニケーションの大切さを学びました。

■インターン生へメッセージ:

楽しいこと、大変なこといろいろあると思います。一緒に取り組めることを楽しみにしています。



No 4

■氏名: 北原 一志さん (21 歳)

■所属: 東京大学文学部4年

■専門: 社会心理学

■音威子府村でのプロジェクトを通して得たこと:

視野が広がり、物事を多面的に見られるようになりました。

■インターン生へメッセージ:

地方を元気にするためにどんなことができるか考え続ける2週間。

大変なこともあると思いますが、『一生モノの経験』と『新たな価値観』を得られる大きな挑戦でもあります。地方に関心がある人は、このまたとない機会をぜひ掴んでみるべきです。



◆アドバイザー

No 1

■氏名: 白井 達也さん (37 歳)

■所属: 音威子府村複業人材アドバイザー

■専門:

新規事業、スタートアップ、金融、M&A、業務構築
・改善アドバイザー

■インターン生へメッセージ:

今までの経験や知見をフルに活用して全面的にサポートします！

音威子府村の輝く未来に向けて、楽しく、一緒にチャレンジしましょう！



No 2

■氏名: 横山 貴志さん (39 歳)

■所属: 音威子府村地域協働アドバイザー

(北海道科学大学未来デザイン学部 助教)

■専門:

事業構想学 (プロジェクトデザイン)、観光まちづくり、広報

■インターン生へメッセージ:

「小さな村」だからこそ、チャレンジできる可能性を持っています。

みんなで一緒に、地域のことを本気で考えましょう！



5. 募集概要詳細

1)募集人数

最大3名まで ※選考で決定し次第、受付終了。

2)研修スケジュール

日 時	内 容
8月上旬～（以降継続）	学生メンターとの事前交流、プログラム導入フォローアップ （zoom リモート・Slack チャット）
9月4日（木）13時～	現地研修開始 ※行政職員、および学生メンター（オンライン）伴走
9月18日（木）12時	現地研修終了
9月下旬～10月上旬	研修事後フォロー（予定）

3)プログラムプロセス、フォロー体制

- ・オンラインと現地滞在を含め、約2か月間の取り組みです。基本的には夏季のみの参加となりますが、希望者は次年度以降のインターンの「学生メンター」としての継続参加の道もあります。
- ・今回は、職員2人と学生1人の3人グループになって、テーマやミッションに沿った動きに挑戦してもらいます。
- ・「学生メンター」は、過去に村でのプロジェクトやインターンに参加した全国各地の学生（もしくは卒業生）で、村のことをよく知っています。インターンプログラム企画検討、インターン生のフォロー体制の検討などの運営側の経験から、インターン生の活動フォロー（ちょっとした困りごと相談など）をはじめ、インターン生と伴走（オンライン）しながら活動を応援します。
- ・限られた現地期間での活動を充実したものにするために、事前事後の取り組み時から、オンライン（zoom、Slack）を活用した活動フォローを実施します。

①地域を知る、村民を知る

- …「田舎だから」という先入観で、地域や住民の未来を否定していませんか…？全プログラムに共通する『知る』ことを徹底的に行います。現地に入る前の事前準備からはじまり、現地滞在時にはテーマにある『村民一人ひとりが主人公になる村をつくろう！』を意識しつつ、ミッションに対して、あらゆる方法や手段でチャレンジしてみてください。
- …事前準備段階から「行政若手職員」や、過去に村のプロジェクトを経験した「学生メンター」が伴走します。

②自分自身を知る

- …オンライン面接時には「あなた自身がこのインターンでチャレンジしたいことはなんですか？」とお尋ねします。このインターンでは、“他人任せ”のような発言や提案はNGです。事前事後・現地滞在の約2か月で自分には何ができるのか？自身の強みや能力を俯瞰して「知る」、見つめ直す機会を得ることができます。

③協働して動く

- …地域に入った時には、自分の先入観や価値観の押し付けではなく、行政職員や学生メンターをはじめ、自分以外のインターン生や村民の方との「協働」が必要不可欠です。限られた滞在期間の中を全力で動き、悩み、議論しながら、今できるアクションにチャレンジするところまでを求めます。

④次へのバトンを手渡す

…今回のインターン後には、次期インターンや、その他学生協働のプロジェクト継続を想定しています。わずか2ヶ月ですべて完璧に達成するまちづくりなどありません。次の学生、次の人たちにどう「バトン」を渡せるかを、現地滞在から事後までの過程で見いだします。

4) 研修期間

- ・ 現地滞在は、令和7年9月4日（木）～18日（木）の、計15日間 ※実働9日間
- ・ 時間は、原則9:00～17:00（休憩1時間を含む）です。（初日と最終日のみ半日活动）
- ・ 滞在期間中のスケジュールについては、担当職員との事前ミーティングを通してインターン生の要望を考慮した上で協議し、有意義なものになるよう組み立てていきます。（休暇対応についても同様で、変則的対応も含みます）
- ・ 事前事後は原則オンラインとし、8月上旬～10月上旬までの期間、数回のオンライン研修を実施します。また合わせて、Slack等での諸連絡や協議等を都度行います。

5) 申込期間

- ・ 令和7年7月25日（金）15時まで

6. 対象者・受け入れ条件

◆対象者は、下記の①～⑤をすべて満たす方に限ります。

①大学、大学院等に在籍する方（休学中も可）

※地域おこし協力隊への就職希望が高い方に限り、18歳以上であれば対象とします。

②地域おこし協力隊インターン制度を活用して実施するため、三大都市圏をはじめとする都市地域、三大都市圏内の一部条件不利地域、または政令指定都市に在住する方

※現在お住まいの地域が該当するかどうかわからない場合は、お気軽にお問い合わせください。

③音威子府村に関心があり、研修に積極的に取り組む意欲のある方

④役場職員以外の村民とも積極的に交流を図り、コミュニケーションが取れる方

⑤受け入れ側で定める規則や注意事項を遵守できる方

◆受け入れ条件は、以下になります。

- ・ インターンシップでの報償費は、日額12,000円です。延べ15日間/実働9日間参加した方にお支払いします。（日額12,000円×9日間＝108,000円）

※必要な経費(交通費、滞在費等)は、各自でご負担ください。基本的に滞在場所は、受け入れ人数等を考慮し、こちらで指定します。

- ・ 参加者は、研修期間中の事故等に備えて、大学生協などの傷害保険および賠償責任保険に各自で加入してください。また、期間中およびその往復中の事故については、自らの責任において対応するものとします。

- ・ 研修中に知り得た秘密の取り扱いや、その他遵守いただく事項についての誓約書の提出及び覚書を取り交わします。

- ・滞在中の移動は、基本的には各自で公共交通（JR、無料村内巡回バス）等を利用し、自家用車等の使用は認めません。なお、研修内容に応じて必要と認められる場合には、役場職員による公用車での移動送迎等の対応を行います。
- ・その他、受入条件等については別途定める要領によるものとし、万が一研修生によるトラブル等が発生した場合には、直ちに在籍する大学等に連絡します。

7. エントリーおよび決定までの流れ

1)村公式 LINE アカウントへの登録（事前質問受付 OK・希望者にはオンライン説明会あり）

- ・下記QRコードより音威子府村公式LINEアカウントを登録し、メッセージ「インターン」と入力・送信してください。
- ・エントリーにあたり、質問や聞きたいことがある場合には、お気軽に LINE アカウントでお問い合わせください。また、エントリーや研修中に活動したいことを検討するための情報提供機会として、希望される方には都度「オンライン説明会」を実施します。聞きたい内容に合わせて、担当職員や学生メンター、アドバイザーが対応します。

2)エントリー

- ・下記 QR コードまたは専用エントリーウェブサイトから、下記のことを提出してください。
 - ①エントリーシート
 - ②自己PR写真 ※証明写真不可
 - ③大学等に在籍していることを証明する書類の写し（学生証の写し等）

3)オンライン面談（先着順選考）

- ・エントリー後、1週間以内を目途にオンライン面談を実施します。日時は、事前に調整し都合の良い日時で行います。予定時間は、約45分です。
- ・エントリーシートに基づき、専攻や研究テーマについて、志望動機や自己PR等をお伺いします。
- ・オンライン面談では、現地インターンに向けた聞き取り、事前調整や意見交換も行います。

4)結果通知

- ・村公式 LINE より、合否結果をお知らせします。※数日以内を目途
- ・選考を通過された方は、別途「誓約書」「覚書」に記入いただきます。現地入り当日にご持参いただくか、当日自筆署名いただきます。

5)事前オンライン研修

- ・事前オンライン研修を、8月中旬頃に実施します。日時は、参加者全員の都合を調整の上、決定します。（最大2時間程度）



音威子府村公式 LINE



エントリーシート

8. 求める人物像

1)本インターンシッププログラムに参加いただきたい人物像、想定しているイメージは下記のとおりです。必ずしも合致している必要はありません。

- ・音威子府村が好き、興味関心がある方、「小さな村」が気になる方
- ・地元の街、都道府県、地方の街に関心がある方
- ・前向きなアイデアや発想をするのが好きな方
- ・自ら進んで考えて行動することができる方
- ・人の話を聞くのが好きな方（自分の話ばかりしない方）
- ・他の人とコミュニケーションを取りながら、物事を進めるのが好きな方
- ・マニュアル通りではない「まちづくり」を体験したい方
- ・就活や進路で悩んでいて、学生のうちに違った視点や体験をしてみたい方
- ・将来、地域おこし協力隊などで活動してみたいと考えている方（※地域問わず）

2)このような方は、本プログラムへのご参加は再考していただくことをおすすめします。

- ・履歴書に書くためだけのインターンシップを探していた方
- ・地方に可能性や魅力を感じていない方
- ・決められたこと、マニュアル通りの事だけをやりたい方
- ・他の人のアイデアや意見を前向きに受け止められない方
- ・最低限のマナー、決められた時間や期日を守れない、挨拶ができない方
- ・人とのコミュニケーションがまったく取れない方

9. 参加して得られること（過去参加した学生の声より）

- 1) 北海道で1番小さな村だからこそ、自分で起こしたアクションによる変化（地域・人）を実感しやすい！やりがいにつながった。
- 2) メンターやアドバイザーのフォローによって、自分に足りなかった部分を再確認し、助けをもらいながら活動できたことによって、スキルアップにつながった！
- 3) 村民一人ひとりと深い関わり・関係性を築く経験ができる！
- 4) 村民とつながりができ、1回限りではない継続的な村との関係性が構築できる！第2の故郷ができた！

10. 滞在に関する事前情報

1) 本インターンシッププログラムは、皆さんが「音威子府村職員と同じ立場」になったと仮定して実施します。（活動場所は、基本役場とします）

主担当課である総務課地域振興室職員 3 名のほか、今回は経済課産業振興室職員 2 名や教育委員会職員 2 名の計 7 名が中心となって、皆さんの活動を支援します。

☆インターンでの皆さんの活動を、より充実したものとするため、過去に村のインターンシッスや事業で関わってくれた学生数名のほか、外部人材（まちづくりコーディネートのフロ）2名が、オンラインでも皆さんの活動をサポートします！

2) 滞在場所は、各自で確保していただくことも可能ですが、下記の場所をおすすめします。エントリ一時や、オンライン面談時にお気軽にご相談ください。

①短期移住体験住宅B

※本施設から徒歩 10 分・音威子府駅前 ※シャワー浴槽有、3LDK

※コンビニ（セイコーマート音威子府店）まで徒歩 15 分

②高齢者等支援住宅

・ 1 階建共同フロア、個別部屋 1K トイレ付

・ 入浴は、近隣の入浴施設を利用していただきます。※シャワーのみであれば、共同で使用可。

青少年宿泊研修施設トムテ：徒歩 5 分、大人 300 円、平日のみ、21 時まで

天塩川温泉：無料地域バスで 15 分、大人 500 円、無休、20 時 30 分受付終了

・ 音威子府市街地、コンビニ（セイコーマート音威子府店）まで徒歩 5 分

・ 本線団地、村立高校近く

※現在、地域おこし協力隊 2 名・地域プロジェクトマネージャー 1 名・地域活性化起業人 1 名の計 4 名が使用しており、高齢者の方は住んでいません。シャワーと洗濯機のみ共同のシェアハウスのような場所です。

3) 村内市街地には、音威子府駅（特急停車駅、都市間バスターミナル）、商店、ジェラート屋、診療所、郵便局、銀行、コンビニ（セイコーマート、6 時-22 時）、道の駅などがあります。

その他、ご不明な点はお気軽に LINE にてお尋ねください。

以上